

ヒロシマ

HIROSHIMA



2023(上)

表紙

蛭
拙（しせつ）

椎
木
剛

「私は何をしているのだろうか」

心の「葛藤の心の心象表現」

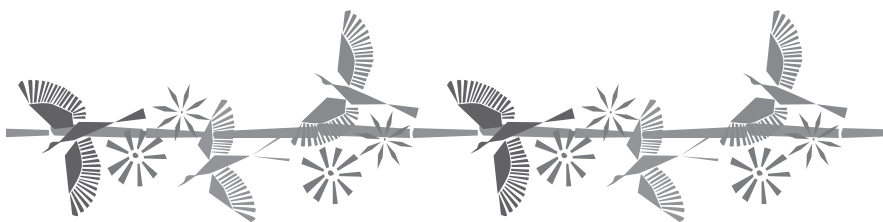
◆題字……………大木 茂

◆ギャラリ……………加田 佳子

追田 勝明

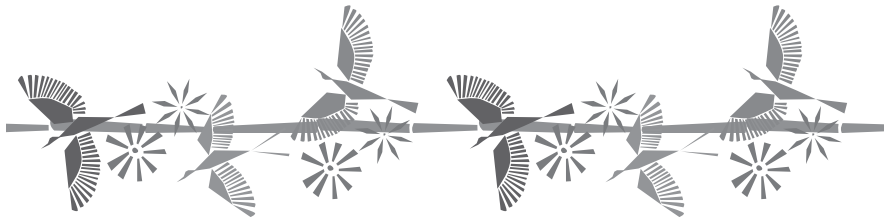
江川 政昭

小林 秀雄

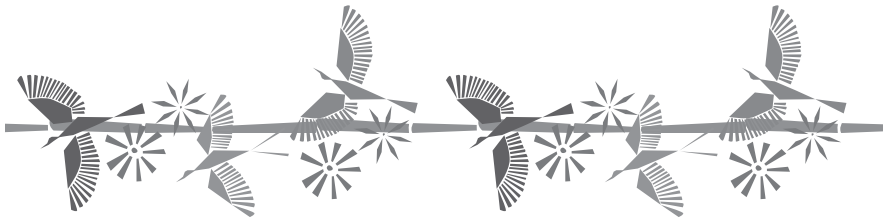


《目次》

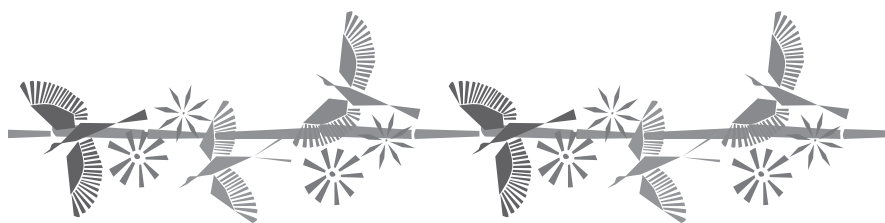
多田多延子……「ねばならない」の鎖を取りはずせ……………	11
田中 博……こぼれ話あれこれ……………	12
田淵 佳恵……Hello, my friend……………	13
通谷 章……私の名前……………	14
土井田 泰……年寄りの疑問……………	15
徳永 博充……ペルーのアントニオ猪木さん……………	16
富沢 佐一……私の一句……………	17
内藤 文雄……中央書店創業（二）法人成り……………	18
夏目 康文……卒寿の想い……………	19
二宮 基樹……沖繩の道……………	20
新田 和雄……旅・thav（反異往立）……………	21
加田 佳子……連れ合い……………	22
渡上 尚……冷たい風が通り過ぎた暑い夏（十八）……………	23
シーズン二 エピソード3 ESGカクテル……………	
平木 滋……ヒロシマからの響き……………	24
福田 康彦……体内時計……………	25
穂高 健一……史料はウソをつくことがある……………	26
円 卓子……平和の鐘……………	27
松本 洋二……『論語』雑感 宰予、孔子に叱られる……………	28



丸子ようこ……ブラボー	いとしき秋の一日……	29
三上寿磨子……	人生の終焉を地域で生きる……	30
三宅 恭次……	T A K E A B R E A K ……	31
望月 澄男……	もしもピアノが弾けたなら……	32
森 重昭……	幽霊から届いた軍事郵便……	33
森田 昌樹……	キャット・デイズ 猫の声……	34
本郷 松柏……	コロナ禍・ウクライナ戦争・ ミャンマー内戦と牧口・戸田思想……	35
矢尾井 優……	明日も笑顔で……	36
山口 隆子……	ピースメッセージとうろうながし……	37
山下 江……	コロナ感染顛末記……	38
吉中 康磨……	初めての入院生活で学んだもの……	39
吉村 淳……	訃報連絡……	40
渡辺 玲子……	暴風警戒下の引越し……	41
中林 光生……	招待席 イギリスの村に住む……	42
浅田 護……	リングの木、ユクシンの石……	44
足立 柳子……	神社の法語……	45
天野ひと恵……	「焼物は旅をする」十四世沈壽官さんとの出会い……	46
馬耳 爽風……	我ふるさと浮沼村（旧布野村）文学紀行……	47
石井 康隆……	黄泉の国……	48
石崎 文子……	「視れども見えず」からの覚醒……	49



石田ひろとし……「三日月」「ひとりになりたいたい」……	50
伊藤 秀輔……山登りと私（その一）……	51
今田 笹舟……極楽……	52
袁 葉……小窓……	53
大下 和美……Que Sera, Sera……	54
大谷 育平……中国とロシア……	55
岡本 忠文……「桜下亭」六十年の歩み（Ⅳ・初秋）……	56
沖野 恵子……容赦ない現実……	57
小野 由子……私「ミッドセンチュリー」ですが 何か？……	58
掛川 一也……道は無限にある……	59
梶矢 文昭……今は昔の駅前付近（戦後・小学生だったころ）……	60
片岡 勝子……台湾の李登輝總統のことども……	61
木矢 克造……沈みゆく夕日……	62
切明千枝子……江波の浜辺の……	63
熊野 良樹……ご先祖様、 <small>さんごわくらん</small> 三業惑乱の渦中に（八）……	64
迫田 勝明……コロナに罹って……	65
塩田 恭子……天井裏の女王陛下……	66
世木田寛子……理系婆（リケバア）月を仰ぐ……	67
梶 杏子……恥ずかしくないの？……	68
米門 公子……ふるさとへ……	69
有田 博司……「妙言に古今なし」……	70



坂木 善子……生き甲斐……	71
西村 哲郎……海は海のもの……	72
升元 浩信……身近なロボット……	73
落田 克二……技術の伝承……	74
運営委員会だより……	75
事務局だより……	81
編集人記……	85
広島ペンクラブ規約……	86
次号原稿募集の案内……	88
会員募集のご案内……	89
編集のーと……	95
文学ツウの裏話……	96